

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	家庭・学校・地域教育支援事業	通番	15
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	3 地域全体で青少年を育む体制を整えます
施策内容	① 生きる力を育む家庭教育力の向上
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的	家庭が子どもの生きる力の基礎を育む場となるよう、講座や研修会を市などの関係部局と連携・協働して開催し、教育力の向上に取り組む。
------	---

取り組み内容	<p>令和3年度は生活に欠かすことのできない「お金」をテーマに取り上げ、親子で学んでいただく「おこづかい」の学習会と保護者向けの「学習資金」についての講座を開催した。また、講師には株式会社滋賀銀行や大津財務事務所の職員を招くなど企業等との連携を図れた。会場では市立図書館による資料展示や子育て関係の情報提供ができるよう関係各課との連携を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域教育力向上講座 「メディアとの上手な付き合い方を考える」山田正明氏 「子育て世代のお金のはなし」大津財務事務所 ○共育学習会 「親子で学ぼう！お金のはなし」株式会社滋賀銀行 ○子どもにどうかかわりあうか講座（公民館・学校・PTAが協力して行う講座） 本庄小学校、今津幼稚園、朽木東小学校（朽木中学校区のPTA対象） ○子ども読書活動推進 高島市立図書館の読書週間用広報紙に「家読」の啓発文を掲載 ○社会教育団体への補助金交付 高島市PTA連絡協議会（会員数2,861人）324,000円
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	<p>地域教育力向上講座開催時には感染予防対策をとり、令和2年度同様関係団体の協力により期間を限定した動画配信を行った。</p> <p>市立図書館が読書週間に発行した読書案内紙に学年に応じた「家読」の案内文を掲載し、家庭で過ごす時間の長い子どもたちや家庭でも読書に親しんでもらえるよう努めた。</p>
------------------	--

課題	もともと関心の高い方の参加が多いため、本来講座を聞いていただきたい方へのアプローチが必要である。
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント	<p>家庭教育の重要性を様々な活動を通して支える本取組は重要である。各講座、学習会は内容等工夫され開催されているが、さらに多くの保護者が参加できるように尽力されたい。「子どもにどうかかわりあうか講座」は、学校の学年単位のPTA活動等で活用しており、多くの保護者が気軽に学ぶことのできる講座である。学校・園との連携を図り、確実に継続していただきたい。</p> <p>生きる力を育む家庭教育力の向上という事業目的は大変重要なことである。令和2年度に開催予定だった家庭教育力向上講座の開催32回の予定を令和3年度は17回に減らしても8回の開催実績だったということは、コロナ禍という事情があるにせよPTA活動、ひびきあい活動が困難になってきている実情を反映しているものと思う。令和4年度は継続して取り組まれていることと思うが、大幅な見直しをしなければいけないと思われる。</p> <p>家庭教育力向上講座の開催方法について改善の余地がある。コロナ禍の影響もあると思うが、当初計画よりも講座開催が大幅に減少した原因について分析し、次年度に向けて改善策を検討してほしい。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>家庭教育関連講座については周知の方法や日程の設定も含めてさまざまな課題があるため、より多くの方に参加してもらえるよう長期休業期間を利用したり、学校行事と組み合わせての開催ができることなど取り組み例を示しながら、学校・保護者・公民館が取り入れやすい形にする。</p>

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	つながり響き合う教育推進事業	通番	16
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	3 地域全体で青少年を育む体制を整えます
施策内容	② 地域ぐるみで育む青少年教育の推進
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的
将来を担う子どもたちを地域みんなで育てることを目的に、地域と学校がパートナーとして子どもたちの学びを支える地域学校協働活動に取り組み、学校を核とした地域づくりを進める。

取り組み内容
学校と地域の架け橋となり、学校行事や地域行事の支援、企画調整などを行う地域学校協働活動推進員を各中学校区に配置した。地域学校協働活動推進員が中心となり、学校のニーズや地域性などを活かし、それぞれの中学校区で特色ある取り組み（地域学校協働活動）を行った。

新型コロナウイルス感染症への対応
コロナ禍により活動が制限されるなか、地域学校協働活動推進員と地域ボランティアが話し合う場を持ち、どのような取り組みができるかについて共有が図れた。そのようななか、子どもたちとの感染予防が図れる活動として、登下校の見守り活動や学校敷地の草刈作業、飛散防止パネルを設置した九九道場について実施できた。

課題
中核を担う地域学校協働活動推進員の業務について、学校支援活動の取り組みが広がるに伴い、活動に参画いただく地域ボランティアの調整作業が増大しているほか、他団体の会議等への参加も増えている。また、部分的に行われている学校支援活動を小中学校9年間の連続性のある活動として位置付けていく必要がある。

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		B	A

外部評価コメント
学校と地域が強く結びつき、共に子どもの成長を支えようとする思いを醸成し、より積極的な取組を進めることで地域の教育力、地域のつながりが一層強まるように進めていただきたい。学校と地域が近い存在になるように、ボランティアだけでなくもっと様々な方法を考え取り組んでいただきたい。小中学校9年間の連続性の中で捉えていくという今後の方向性には大いに期待したい。
内部評価では、全ての学校で地域ボランティアの姿が日常的に見られるようになり、学校支援活動の幅も広がっているとあるが、「学校を核とした地域づくり」が充実してきたと感じている。ただ、それを推進すべく頑張っておられる地域学校協働活動推進員の仕事が増大し、過重になっているのではないかと心配している。増員の必要があると思う。
目標値を上回るボランティアがあった点は高く評価できる。他方で、学校支援活動の拡大やボランティアの増加に伴い、地域学校協働活動推進員の業務が増大していることから、配置校数の増加や人員体制の拡充が望まれる。

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

各中学校区に配置している地域学校協働活動推進員について、安曇川中学校区に続き、湖西中学校区についても2名体制とし、円滑な学校支援活動につながるよう工夫する。また、子どもたちの成長を支える活動を学校や地域で今後も取り組むことにより、学校を核とした地域づくりの推進につなげる。
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	文化振興事業	通番	17
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「せせらぐ」暮らし・文化
施策項目	1. 誰もが住みたくなる生活環境を整えます
施策方針	3 文化による人や地域のつながりづくりを推進します
施策内容	① 特色のある地域文化の振興
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的	優れた文化や芸術に触れる機会を提供するとともに、市民の参画と共同により文化活動の発表の場を拡げ、文化の振興を促す。
------	---

取り組み内容	<p>◆高島市文化振興推進審議会の開催 高島市文化振興推進審議会を開催し、庁内各課が取り組む文化事業の計画・実績について説明し、委員からの意見を求めた。</p> <p>◆第17回高島市美術展覧会の開催 広く一般から作品を募集し、鑑賞することで芸術文化への興味・関心を深め、市民の文化意識の向上を図るため、高島市美術展覧会を開催した。 会場：藤樹の里文化芸術会館 会期：11/21(日)～11/24(水)、11/28(日)～12/21(水)の2部開催</p> <p>◆文化団体への補助金交付による支援 文化の継承と発展を図るため、各種団体に補助金を交付し、その活動の支援を行った。 ・「子ども文化教室」開催（主催：高島市教育委員会・高島市文化協会） 陶芸・生け花教室、浴衣で日本舞踊を踊ろう、七宝焼き&絵手紙教室</p>
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	高島市文化振興推進審議会は、新型コロナウイルス感染症に配慮し、2回の書面開催とした。 高島市美術展覧会では、入口にて検温・消毒・マスク着用をするよう徹底した。また、来館者の氏名・連絡先を来館者カードに記入するよう案内し、感染症拡大対策を実施した。休日・祝日は来館者が急増するため、人員配置を工夫するなど会場運営体制を充分考慮し、来館者同士が密にならないよう監視、入場制限を徹底した。
------------------	--

課題	高島市美術展覧会の実行委員の高齢化が進み、運営体制の維持が困難になりつつあるため、若い世代を対象に、当事業についてさらに周知を図る必要がある。
----	---

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント	<p>令和2年度は「出品者の高齢化と出品数の減少」が、令和3年度は「実行委員の高齢化による運営体制維持の困難化」が課題となっている。早々に今後を見通した対策を検討し、様々な点から手を打つことが必要である。身近な文化交流の場としての地域文化祭への支援は今後も確実に継続させていく必要がある。さらには、区の文化祭へも目を向けていただきたい。</p> <p>令和3年度の地域文化祭は舞台発表がコロナ感染のリスク回避のために中止という事になったが、展示は公民館が主体となって、人の密集を避けるため期間を延長して開催された地域があった。地域文化祭に準じる催しとして支援をし、指標に上げれば良かったのではないかと思います。また、この文化振興事業全てにおいて高齢化が進んでいるように思うが、若い世代に対し、文化を楽しむ姿勢を醸成することが必要だと考える。</p> <p>コロナ禍の影響により地域文化祭等が引き続き中止となったが、次年度に向けて感染症対策を含め実施に向けた内容・方法の検討を市民参画のもと行っていただきたい。</p>
----------	--

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

地域文化祭については、感染防止対策を講じたうえで開催できるよう、感染予防ガイドラインを作成して周知し、確実に支援を継続する。また、市内で芸術・文化活動に携わる若い世代への事業参画の呼びかけや、文化を楽しむ姿勢を醸成できるような内容の企画を検討し、文化振興を推進する。

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	人権教育推進事業	通番	18
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「せせらぐ」暮らし・文化
施策項目	1. 誰もが住みたくなる生活環境を整えます
施策方針	2 人格と個性が尊重される地域社会をつくります
施策内容	① 人権に対する意識の高い地域社会の構築
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的
社会における連帯意識や帰属意識が薄まり、他者への無関心や相互不干渉の風潮が広まる中で、一人ひとりが人権の大切さを理解し、すべての人の人権が尊重される豊かな社会を目指す。

取り組み内容
高島市人権教育推進協議会に補助金を交付し、各種人権教育事業を実施することで、人権について考えてもらう機会が提供できた。
◆人権啓発標語・イラスト募集事業（応募総数：標語2,670点 イラスト7点） このうち、優秀作品として標語16点、イラスト1点を選定した。
◆人権教育基礎講座（感染症対策のため縮小開催 2月17日 テーマ「ネット社会と意識の変化」）
◆図書館における人権啓発事業 （11月26日～12月10日 人権標語・イラスト優秀作品ポスター展示）
◆啓発資材購入とDVD貸出
◆支部事業として、安曇川・高島・新旭地域の各支部が、地域研修会を実施した。

新型コロナウイルス感染症への対応
全3回の開催を計画していた人権教育基礎講座を1回とし、講座のテーマを社会的に問題となっている「ネット社会と意識の変化」とした。また、この基礎講座に代わる事業として、人権週間に図書館での人権啓発事業を行ったが、例年、開催していた対面型の人権研修や講座の多くが中止となった。

課題
人口減少や高齢化により、生涯学習推進員を設置することが難しい区・自治会については、地域での生涯学習や人権教育を推進する方法を検討する必要がある。また、近年ではLGBTQなどの性的マイノリティの人たちの人権に関してもどのように取り組んでいくのかが課題である。

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント
県民調査では、人権が尊重される社会に向けて自分も努力したいと考える人が年々減少し、なりゆきにまかせる、考えていないという消極的な人が増加している。本事業でも、取組内容としては、標語・イラストの募集・展示、基礎講座、啓発資材の貸出であるが、毎年同じ取組内容である。市民が自分自身の問題であると実感できるようにすることが必要である。
高島市人権のつどいはホールでの開催ではなく動画配信で開催されたとのことだが、LGBTQなどの今日的課題に取り組みされた良い講演会だったと思う。現在では一斉にオンラインで聴けるという講演会が多く開催されている。申し込みを受け付けURLを送るといった作業は増えるが、どれくらいの人が聴いてくれたかの把握は可能になる。人権教育は本当に大切な事業なので努力をお願いしたい。
コロナ禍の影響により、人権教育基礎講座の開催が1回となったため、参加者数等も目標に達することができなかったのは残念であった。次年度に向けては感染症対策を含め実施方法について工夫・改善策を検討し、人権啓発事業の充実に努めていただきたい。

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえで、市民向けの講座の開催を引き続き行い、今後も人権意識を高める活動を地道に行っていく。
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	公民館講座教室開催事業	通番	19
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくります
施策内容	③ 地域で主体的に行動できる地域人材の育成
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的	公民館を拠点に市の関係部局や社会教育関係団体と連携しながら、市民の学ぶ機会の提供と地域課題の解決につながるよう人材の育成に取り組む。
------	--

取り組み内容	<p>趣味や教養のほか、関心の高い健康をテーマにした講座、また地域を題材にした教室を開催した。また、高島市と連携協定を結んでいる明治安田生命を講師に迎えた講座も開催した。</p> <p>社会教育関係団体への補助金交付 あどがわ女性の会（会員数 13人） 25,000円</p> <p>（仮称）たかしま市民大学の開校に向け、準備委員会を設置しカリキュラム等についての検討を行った。</p> <p>準備委員 7名 座長 上田洋平氏（滋賀県立大学講師） 他 社会教育委員、公民館運営審議会委員、その他青年団員や大学生を委嘱。</p> <p>会議 4回開催（市の現状や課題、目指す人材像の検討、カリキュラム案の検討など）</p>
--------	--

新型コロナウイルス感染症への対応	教室・講座では緊急事態宣言の発令に伴い、臨時休館や開館時間の短縮したため、当初の計画から回数や内容を変更しての開催となった。講師と調整を図りながらできる限り日程を変更しての開催を企画したが、予定回数に満たないまま終了した教室・講座もある。日程の変更に伴い2部に分けて開催した教室もあった。
------------------	--

課題	アンケート結果から受講者の高齢化傾向が顕著である。講座終了後の活動継続意欲について7割の人が何らかの形で続けたいとしつつも、学習成果の地域還元については半数以上が「考えていない」としている。教室講座が目指す、学びを地域で循環させる人材の育成までには至っていない。
----	---

総合評価 （5段階）	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント	<p>市民への学習機会提供の場としての公民館講座、人材育成の場としての市民大学の開校とすみ分けを図るという方向性は評価する。市民大学の開校には大いに期待したい。令和3年度も様々な講座・学習会が開催されているが、公民館がより市民にとってイメージしやすく、必要性のある身近な存在になるようにしていただきたい。</p> <p>課題として書かれている学びを地域で循環させる人材の育成を目指すなら、公民館講座は現在の開催の仕方ではなく、新たな手法を使って若い人たちの参加を増やす取り組みをしなければいけないと思う。令和2年度の今後の取り組みにはリモートによる研修とあるが、まさにそれを実現して人材の発掘に努力をしてほしい。</p> <p>市民大学準備委員会が発足し、市民大学開校に向けて前進している点は高く評価できる。教室講座の開催に加え、市民大学の開校によって社会教育の充実と地域人材の育成が前進することを期待している。</p>
----------	--

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

「何か始めてみたい」から「より専門的なことを深く学びたい」まで様々な学習ニーズを持つ市民にとって、公民館は学ぶ入口の1つになる。講座・教室の内容だけでなく、受講生同士が出会い、地域での活動に繋がるなど身近な学びの拠点となるように内容を考える。

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	市立図書館運営事業	通番	20
担当部局	教育総務部 図書館		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します。
施策方針	4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくります
施策内容	④ 生涯学習のニーズに応える図書館運営
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的	市民が生涯を通じて、いつでも、どこでも、自由に学び、その成果を発揮できる社会づくりの推進、まちづくりの基礎となるひとづくりにつながる図書館運営を行う。
------	---

取り組み内容	<p>安定した図書館サービスの提供と利用者サービスの向上のため、次の業務に取り組んだ。</p> <p>◆図書館協議会の開催 図書館の運営のあり方とサービスの活性化を図るため、図書館協議会を3回開催し（うち1回は書面開催）、委員に意見を求め、図書館の運営に反映させた。</p> <p>◆図書館資料物流業務 市内のどの図書館でも資料の受取や返却ができるよう、年間62回の配送を行った。また、業者委託では対応しきれない配送資料は、週に1～2回、職員による配送を行い速やかな対応に努めた。</p> <p>◆図書館システムの運用および保守 安定した図書館サービスを提供するため、図書館のコンピュータシステムの運用と保守を行うとともに、ホームページやメールマガジンを活用して、新刊案内やおはなし会等の図書館の事業を計画的、効率的に発信し、利用者サービスの向上と図書館利用の促進を図った。</p>
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	<p>緊急事態宣言下においては、安曇川図書館・今津図書館の夜間延長時間を1時間短縮したが、休館することなく利用者へのサービス提供に努めた。なお、検温、手指消毒、滞在時間の制限、アクリル板の設置および館内の除菌作業は継続して行い、感染予防対策を徹底した。図書館の行事は、感染予防を行いながら、おはなし会、本の森探検事業等を再開した。</p> <p>コロナ禍で図書館の事業や貸館事業が中止となったことに伴い、館内での関連本展示などの催しができなかった。</p>
------------------	--

課題	<p>活字離れ、読書離れが進む中、市内図書館においても利用者数の減少傾向に歯止めがかからないことから、市民の意見をくみ取りながら、だれもが利用しやすく快適に読書や学習ができる環境を提供する必要がある。</p>
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		A	A

外部評価コメント	<p>安定したサービスの提供や受取・返却のサービス等工夫されているが、それでも図書館利用者の数の減少傾向に歯止めがかからないとのことである。さらには利用者の固定化という課題もあるように思える。こうした課題に対して、具体的な方策を一つ一つ確実に積み上げていくことが大切である。一方通行の対策ではなく、図書館と市民、学校等が双方向でつながるような対策も必要であるように思われる。</p> <p>市民の中には高齢化のために交通手段がなく、図書館利用を諦めざるを得ない方も出てきている。事業目的を果たすためには、出向いてゆくサービスのことを考えなくてはいけない時期が来たと思う。移動図書館は高齢者だけでなく、新たな利用者を生み出すかもしれない。高島市では産まれてから亡くなるまで、生涯を通じて本に親しむ施策がなされている。事業目的を実現するべく前向きに努力してほしい。</p> <p>感染症対策を実施しながら安定したサービスの提供が行われた点を高く評価する。少子高齢化社会を見据え、市民のニーズを把握しながら、移動図書館の実施等より利便性の高いサービスの提供について検討を重ねていただきたい。</p>
----------	--

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>図書館運営においては、今後も安定したサービスの提供を維持するのはもちろんのこと、図書館利用者の減少・固定化といった課題に対し、その原因を追究し、課題解決に向けた方策の検討を進めていきたいと考える。</p>

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	ブックスタート事業	通番	21
担当部局	教育総務部 図書館		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくります
施策内容	④ 生涯学習のニーズに応える図書館運営
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的	4か月児および1歳8か月児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行うことで、絵本を通じて心豊かな子どもを育て、よりよい親子関係を築くきっかけづくりを提供する。
------	--

取り組み内容	<p>4か月児および1歳8か月児に対し絵本の読み聞かせを行い、その反応を保護者に観察してもらうことで、絵本を使った語りかけが有効であることを実感してもらうとともに、各家庭でも絵本を介した語りかけをすることができるように絵本をプレゼントする。</p> <p>家庭でも、保護者が子どもを抱きながら絵本を読み聞かせ、その反応を見ることで子どもに対する愛着をより一層感じ、子どもも保護者に対して安心感が増すとといったように、親子関係のスムーズな構築や、子どもの情緒的な成長を促すきっかけとした。</p> <p>また、令和3年7月から、4か月児ブックスタートの対象児で希望される方には、会場で図書館利用カード登録申込みを受付し、作成した利用カードを後日ご自宅へ郵送し、図書館利用の促進にも努めた。</p> <p>◆対象児</p> <p>① 4か月児：毎月2回開催（24回）</p> <p>② 1歳8か月児：毎月1回開催（12回）</p>
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	<p>母子との接触をできるだけ避けるため、引き続き事業の説明を文書で配布し、読み聞かせを中止した。また、プレゼント絵本は、健康推進課が母子に送付している健診案内に絵本申請用紙を同封し、事前を選んできてもらうことで待ち時間を短縮した。</p> <p>検診の担当課である健康推進課と協議し、ブックスタートサポーターの入室は控え、図書館職員1～2人で対応するとともに、持ち込む見本絵本などは、その都度アルコールで消毒し、感染予防に努めた。</p>
------------------	--

課題	1歳児ブックスタートの実施月齢を、満1歳から1歳8か月に変更したことに伴い、絵本も月齢に合わせたものに変更した。そのため、ブックスタートサポーターの入室が可能になった場合に備え、変更後の絵本の読み方を練習する機会が必要となる。
----	---

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		A	A

外部評価コメント	<p>令和2年度にはブックスタートの場所の工夫や絵本のプレゼント、渡し方の工夫をされ、令和3年度には読み聞かせの保護者参観や事前に絵本を選んでもらうこと、会場での図書カード登録申込の受付等、確実に目標達成に向けて改善され、その成果を確実に出しておられることに敬意を表す。今後も着実に継続できるよう、その年度に出てきた課題に正対し、解決を図っていただきたい。</p> <p>コロナウイルス感染症に配慮しながらも工夫をして事業を継続されていることは評価できる。また、内部評価コメントにプレゼント絵本を月齢にあった絵本に変更したことで、待ち時間中に読み聞かせをされていた親子が見られたとあるが、大変良いことだったと思う。令和3年度ではブックスタートサポーターの出番は無かったようだが、再開できるように準備をお願いしたい。</p> <p>ブックスタート事業の実施にあたってさまざまな創意工夫がなされている点は評価できる。利用者カードの作成については、1歳8ヶ月健診の際にも受付を実施すれば、作成人数の増加につながるのではないかと。家庭教育力の向上を図るうえでもブックスタート事業が果たす役割は大きい。今後も取り組みを継続していただきたい。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>この事業は、子どもたちが本に接するきっかけを提供するものであり、ご家庭での読書習慣の推奨や、将来の図書館利用につなげるため、継続して取り組んでいきたいと考える。今後は、お子さんひとり一人へさらにきめ細やかな対応ができるよう、ブックスタートサポーターへの研修や、新たなサポーターの発掘など、事業運営体制の強化に努めていきたい。</p>

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	文化ホール運営事業	通番	22
担当部局	教育総務部 高島市民会館（文化ホール）		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「せせらぐ」暮らし・文化
施策項目	1. 誰もが住みたくする生活環境を整えます
施策方針	3 文化によるひとや地域のつながりづくりを推進します
施策内容	② 市民の参画と協働による芸術文化の振興
◆第2期教育大綱	重点目標 目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

事業の概要

事業目的	優れた芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民の参画と協働による芸術文化活動の支援などを行い、市民が個性ある文化を創造し発信できる拠点施設を目指す。
------	--

取り組み内容	<p>計画していた全28事業のうち、感染症対策のため大勢の参加や他県からの集客が見込まれる13事業が中止となり、展示事業などを主に15事業を実施した。</p> <p>◆主催、共催事業 8事業のうち4事業を中止、4事業を実施した。（入場者：991人） ・「京フィルはじめてのクラシック」ほか3事業を開催した。</p> <p>◆実行委員会主催事業 全3事業を中止した。（「びわ湖国際フルーツコンクール」ほか2事業）</p> <p>◆市民提案型共催事業 6事業の提案のうち4事業を中止、2事業を実施した。（入場者：139人） ・「小さな朗読の会（清水安三 桜美林物語）」ほか1事業を開催した。</p> <p>◆展示、教室事業 全9事業を実施した。（入場者：3,860人） ・「たかしま子ども美術展」ほか8事業を開催した。</p> <p>◆アウトリーチ事業 全2事業を中止した。（「クラシックアウトリーチ」ほか1事業）</p>
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	「高島市文化ホールにおける新型コロナウイルス感染防止対策」マニュアルに基づき、使用責任者と施設職員が互いに確認することとした。ただし、座席制限を3席空け25%としていたが、令和3年10月1日から、国、県のレベルに合わせて100%以内とし、利用者への利便性を図った。
------------------	--

課題	文化ホールサポーターのあり方について、実行委員会の中で広報の仕方、他のホールへ研修に行くなど会議に参加してもらえるような工夫が必要という提案をいただいているが、チラシの見直しをしたにとどまっている。今後は、ホールサポーターの募集方法や役割について引き続き検討していく必要がある。
----	---

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント	<p>感染症対策に気を配りながらの実施、また先を見据えた新規事業の実施等については評価する。今後も、input・output双方向の拠点であり続けられるよう尽力していただきたい。なお、「文化ホールサポーター」というボランティアグループを募集していることや、そもそもそういうグループがあることを市民はどの程度認識しているのか。検討が必要である。</p> <p>コロナ禍の影響で実行委員会主催事業や市民提案型共催事業が大規模な事業ほど中止を余儀なくされてしまったことは、大変残念な思いである。高島市の文化ホールは市民との参画・協働によって創り上げてきた舞台事業が多くあり、市民が動けなければ必然的に実施可能な事業も減っているというのが現状である。令和3年度では展示事業・教室事業が活発であったが、コロナ禍の中でもなんとか市民と共に創り上げる舞台事業を継続できるように工夫をしていてもらいたい。</p> <p>コロナ禍の影響による事業中止もあったが、来場者の満足度は依然として高い。市民提案型事業など市民参画と協働にもとづく事業運営を今後も継続してほしい。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>ホールサポーターの趣旨、役割、活動などを見直し、登録していただいている方へその課題などについてアンケート形式でヒアリングを行う。また、舞台芸術に関する講座や、他館への見学会など研修を受講し、知識を広めて感心を高めていただく。このような勉強会、交流会などの活動を通じて、ネットワークづくりを進めていただき、活動していただけるサポーターの増員を目指す。</p>

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	成人式開催事業	通 番	23
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	3 地域全体で青少年を育む体制を整えます
施策内容	② 地域ぐるみで育む青少年教育の推進
◆第2期教育大綱	
重点目標	目標3 地域ぐるみで育む青少年教育の推進

事業の概要

事業目的	新成人が、自分たちの成長を見守り育ててくれた人々に感謝し、社会的責任の自覚を持つ場とするとともに、次代を担う青年たちの活躍に期待し、激励する。
------	---

取り組み内容	<p>新成人が、実行委員会を組織し、式典の運営に関わることで、自ら考え行動する機会とした。また、実行委員による新成人の「誓いのことば」を通じて、参加した新成人が「おとな」としての責任ある行動を意識するなど厳粛な雰囲気での式典を開催した。</p> <p>◆実行委員会</p> <p>①会 議 11月～12月（計4回）</p> <p>②内 容 式典運営（受付、会場整理、司会、メッセージ動画作成等）等の検討</p> <p>◆成人式</p> <p>①期 日 令和4年1月9日（日）</p> <p>②場 所 高島市民会館、ガリバーホール</p> <p>③内 容 式典（開会、国歌、式辞、来賓紹介、誓いの言葉、閉会）、記念写真撮影</p> <p>④参加者 新成人397人</p>
--------	--

新型コロナウイルス感染症への対応	<p>2会場での分散開催を行うとともに、各会場の座席間隔を1席空けとしたほか、式典時間を短縮するため、来賓による祝辞、新成人によるアトラクションを中止した。</p> <p>その他の感染症対策として、入場前の検温、手指消毒、次第等の配布物にかえてスマホによる閲覧、ご家族等の観覧中止、マスクの着用、事前に受付票を配付し受付の簡素化を実施した。</p>
------------------	--

課題	<p>新成人が参加したくなるような企画を検討し、また当日の運営を行う上で新成人による実行委員会を募集しているが、自発的な参加は少ない。成人式事業を円滑に進めるため、社会教育課だけでなく、子ども若者支援センターあすくと連携して進めていく必要がある。</p>
----	---

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		B	B

外部評価コメント	<p>ほぼ8割が参加している一方で、実行委員に自発的に参加する新成人が少ないことが課題であるとのことである。実行委員会は成人式の企画にどの程度参加できるのかが知りたいところである。毎年当たり前のように式典（式辞、来賓紹介等）は行われているようであるが、そのあたりも含めて実行委員と創り上げる成人式でありたい。</p> <p>成人式事業は、第2期教育大綱の目標に掲げる青少年教育推進の節目となる事業であり、式典を通じて大人としての自覚を意識する場である。また、成人式開催に向け実行委員として関わることで、社会的責任を持ち、自ら考え行動する場になると考えるため、今後も実行委員会に積極的に参画する青年が増えるように、募集に工夫されることを望む。</p> <p>新成人による実行委員会方式は、社会の形成者としての自覚を培う機会となっており、重要な取り組みといえる。自発的な参加が乏しいとあるが、新成人が主体的に企画立案に参画している点は評価できる。地域理解や郷土愛を培う機会でもあり、開催方法を工夫しながら引き続き実施していただきたい。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>新成人が、節目となる式典に向け実行委員会に参画いただけるよう広く周知を図り、引き続き実行委員会による企画立案により自ら考え行動する機会となるよう取り組む。</p>
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	青少年教育一般事業	通 番	24
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	3 地域全体で青少年を育む体制を整えます
施策内容	② 地域ぐるみで育む青少年教育の推進
◆第2期教育大綱	重点目標 目標3 地域ぐるみで育む青少年教育の推進

事業の概要

事業目的	自然や文化遺産等の地域資源を活用して、子どもの豊かな学びと成長を支援する。
------	---------------------------------------

取り組み内容	<p>青少年育成市民会議に補助金を交付し、青少年健全育成事業、少年交流・体験事業などの活動を支援した。地域・家庭・学校が一体となり、「地域の子どもは地域で守り育てる」機運の醸成を図るとともに、子どもたちを犯罪被害から守り、安全で安心して暮らせる環境づくりに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆青少年育成推進員の配置（令和3年中募集したが応募なし） ◆高島市青少年育成市民会議による活動 <ul style="list-style-type: none"> ・よえもん道場 期間：10月、1回開催 会場：高島市内 参加者：15人 ・ブナ原生林見学（朽木地域） ◆「こども110ばん」事業
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆少年交流・体験事業（ニセコ町訪問）を中止した。 ◆よえもん道場については年間2回計画し、第1回目はコロナにより中止になったが第2回目については感染症対策を徹底し実施することができている。 ◆高島市青少年育成大会を中止した。 ◆ワイワイキッズを中止した。
------------------	--

課題	青少年の体験活動の中で、スタッフを含めリーダー人材の育成を図っているが、コロナ禍により、活動自体が実施できなかった。また、各団体の指導スタッフの高齢化により活動の継続が難しくなりつつある。
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	C

外部評価コメント	<p>地域で子どもを守ることから地域づくりの一環として取り組む必要がある。交流体験事業やよえもん道場等は、子どもにとって学校以外の場で新たな人間関係を築くことのできる貴重な機会である。継続して取り組んでいけるように、今から対策を講じていただきたい。</p> <p>青少年育成市民会議では、青少年の体験活動をよえもん道場や各地域ごとに展開しているほか、市民が体験活動サポーターの力を借りながら地域での体験活動に取り組んでいる。コロナ禍で青少年の体験活動の中止や縮小が続いていることで、社会性を育む場が減っており、心身の健全な成長に影響を及ぼすのではないかと懸念している。工夫を凝らして、事業の継続に取り組んでもらうためにも青少年育成推進員の配置を強くお願いしたい。</p> <p>事業運営上、青少年育成推進員の確保は最重要課題である。人員確保のための方策を検討いただきたい。コロナ禍の影響で事業の中止や縮小を余儀なくされたのは残念だが、感染症対策をしながら事業実施した点は評価しうる。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>青少年体験活動を円滑に実施するため社会教育指導員を新たに配置するよう取り組む。また、青少年育成市民会議などで取り組んでいる子どもたちの体験活動については、市域全体での取り組みに合わせて、引き続き市内各地域で取り組みを展開するとともに、感染予防対策を踏まえ、安心して参加できる体験活動事業に取り組む。</p>
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	青少年育成事業	通番	25
担当部局	教育総務部 社会教育課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	3 地域全体で青少年を育む体制を整えます
施策内容	② 地域ぐるみで育む青少年教育の推進
◆第2期教育大綱	重点目標 目標3 地域ぐるみで育む青少年教育の推進

事業の概要

事業目的	地域で主体的に活動している青少年団体の活性化に向けて取り組む。
------	---------------------------------

取り組み内容	<p>地域で活動している青少年育成団体への支援</p> <p>◆青少年育成団体等への活動補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高島市子ども会協議会 ・安曇川町子ども会連合会 ・高島市ボーイスカウト連絡協議会 ・高島少年少女合唱団 ・マキノ少年少女合唱団 ・新旭子ども会連合会 ・高島学区子ども会連合会 ・ガールスカウト湖西地区協議会 ・安曇川児童合唱団 ・高島市青年協議会 <p>◆感染症対策のため中止した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たかしま子どもフェスティバル ・高島市吹田市少年キャンプ大会 ・サポーター養成講座 ・高島子どもの宿
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	<p>青少年団体では、コロナ禍のため活動の規模を縮小したり、感染症対策を講じながら工夫を凝らして、活動を行ったが、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言、また市内感染者の増加により急遽中止となる事業が多くあった。</p>
------------------	--

課題	<p>少子化の影響から青少年育成団体に加入する子どもの数が減少傾向にあり、活動の継続に支障が出つつあることから、青少年育成団体の活動を知ってもらう必要がある。青少年関係団体の活動発表と交流の場である、子どもフェスティバルが2年連続で中止となり、活動を広報する機会も無くなっている。</p>
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント	<p>子ども会については、その必要性、メリットは十分にある。一方で、現代の暮らしにマッチする子ども会のあり方を模索していく必要もある。どの活動についても、今後のあり方や直面する課題の解決に向けて、各団体がつながり合い活性化に向けて取り組んでいけるようにする支援が必要である。</p> <p>青少年育成団体が弱体化してきていることは少子化の影響が確かにあると思うが、子ども会などは大人の世話役がいなくなったというような理由で連合会から抜けていく地区子ども会もある。役員だけが頑張る組織ではなくて、より幅広い繋がりの中で支えられる体制を作らなければ、弱体化では済まなくなってしまう。コロナ対策をとりながら出来ることを行ってほしい。</p> <p>コロナ禍に加え、青少年育成推進員の不在が事業の実施に影響を及ぼしている点が懸念される。サポーター養成講座や子どもフェスティバルについて感染症対策を含んで開催に向けた工夫・改善策を検討することが求められる。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>安心して子どもたちが参加できるように、引き続き感染症対策を踏まえ子どもフェスティバル等の体験活動事業に取り組む。また、地域で活動している青少年育成団体について引き続き支援を行う。</p>
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	文化財保存活用事業	通番	26
担当部局	教育総務部 文化財課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「あゆむ」 子育て・教育
施策項目	2. 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します
施策方針	4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくります
施策内容	① 歴史・文化の情報発信と次世代への継承
◆第2期教育大綱	重点目標 目標4 地域の特性を踏まえた文化財の保存・継承および活用

事業の概要

事業目的	文化財の価値や魅力を伝える講座や現地学習会の開催等により、文化財の重要性や価値に対する理解を深める。
------	--

取り組み内容	<p>文化財の価値や魅力を伝える学習会の開催や説明板の設置、ガイドブックの作成をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆歴史体験学習会「たかしま歴史楽」 滋賀県内で発掘調査に従事する外部の研究者や担当者を招聘し、最新の調査成果から市内に分布する遺跡について出土遺物などを交え再評価し、その重要性について学んでいただく。 第1回「高島市内の遺跡と渡来系遺物について」（コロナで中止） 第2回「古代高島とマキノ製鉄遺跡群について」（参加者18人） 第3回「旧秀隣寺庭園と京極氏庭園について」（参加者15人） 第4回「大溝城と水口岡山城について」（参加者18人） ◆文化財説明板（駒札）の設置 2基 「今市の道標」 新旭町今市 「日吉二宮神社」 新旭町深溝 ◆高島歴史探訪ガイドブックⅧ「朽木地域の文化財」作成（1,000部） ◆資料館管理運営事業 市内の歴史や文化財を広く紹介するため、常設展示を基本としてそれぞれの館の特色を活かした運営に努めた。 ◆中江藤樹記念館管理運営事業 中江藤樹関係資料の収集や展示、保存を行うとともにその教を普及啓発した。
--------	--

新型コロナウイルス感染症への対応	<p>①参加者を市民に限定した。 ②定員に対し大きめの会場で開催し、各机で1名の着座とするなど十分な間隔確保に努めた。 ③アクリルボードを設置など飛沫の拡散防止に努めた。 ④その他、検温、マスク、消毒など、基本的な感染防止を講じた。</p>
------------------	--

課題	歴史体験学習会「たかしま歴史楽」では、受講者固定化の傾向にあったことから、過去参加者へのダイレクトメール送付を取りやめ、広報およびチラシによる募集のみとしたところ、新規参加者が見られた一方、参加者が定員に達しなかった。
----	---

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		B	B

外部評価コメント	<p>「歴史楽」受講者の固定化という課題に対して新たな試みをし、新規参加者の増加につながった点を評価する。新たな課題に対してはさらなる改善を期待する。継続して受講したいという思いも大切にしたいところではある。高島の歴史遺産を確実に次世代につなぐという大変重要な事業である。情報発信にも引き続き尽力していただきたい。</p> <p>歴史体験学習会「たかしま歴史楽」は毎年色々な観点から企画が作られていて、リピーターが増えてくるのも当然と感じる。毎回40名の定員らしい中で固定化を気にして、参加者が定員割れをしてしまうのは残念なことだと思う。資料館の運営においても、市内3館の内、高島資料館のみ常設で後の2館は予約があった時だけの開館になっている。市民が気軽に見学に、また観光客がフラッと行ってみようとなった時に開館できていないのは年間入館者数を指標に上げた時、勿体ないように思う。出来るだけ早く市の文化財を網羅した資料館を実現してほしい。</p> <p>コロナ禍の影響もあり、学習会への参加者数や資料館の入館者数が減少している点は懸念される。他方で、高島歴史民俗資料館の動画を作成しYouTubeで配信するなど、SNSを積極的に活用して情報発信に努めた点は高く評価できる。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>市内にある文化財についてこれからの時代にふさわしい手法を見出し、保存と活用を進める。 資料館や記念館についても、SNSや映像を活用した情報発信に努めるなど、高島市にある貴重な資料を、より身近に接する機会を提供していきたい。</p>
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	文化財保存管理事業	通番	27
担当部局	教育総務部 文化財課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「せせらぐ」暮らし・文化
施策項目	1. 誰もが住みたくなる生活環境を整えます
施策方針	3 文化による人や地域のつながりづくりを推進します
施策内容	③ 地域の伝統行事や文化財の次世代への継承
◆第2期教育大綱	重点目標 目標4 地域の特性を踏まえた文化財の保存・継承および活用

事業の概要

事業目的	地域や所有者などによって守り継がれてきている文化財を後世に継承するため、保存修理等を行い、適切に保存管理する。
------	---

取り組み内容	<p>文化財を適切に保存管理するため、補助金の交付やパトロールなどを実施した。</p> <p>◆指定文化財の保存修理（整備）や維持管理に伴う補助金の交付</p> <p>①維持管理 11件</p> <p>建造物 白鬚神社本殿、若宮神社本殿、大田神社本殿、思子淵神社本殿他2棟 美術工芸品 宗正寺木造十一面観音坐像、称念寺木造薬師如来立像等 史跡・名勝 鶉川四十八躰仏、近藤重蔵の墓、分部家歴代の墓、極楽寺庭園、旧秀隣寺庭園</p> <p>②保存修理（整備）3件</p> <p>建造物 波爾布神社本殿 美術工芸品 宝幢院地蔵十王図 史跡・名勝 旧秀隣寺庭園</p> <p>③防災設備設置 4件</p> <p>白鬚神社境内社、日吉二宮神社本殿、武尊学校、興聖寺本堂</p> <p>◆文化財保護指導員(7人)による文化財の現状確認（32か所）</p> <p>◆史跡（市有地）の維持管理 6件</p>
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	特になし
------------------	------

課題	少子高齢化や地域コミュニティの希薄化により、適切な保存、継承が難しくなりつつある文化財があるため、文化財を保存、継承していくには、所有者や管理者へ支援を継続する必要がある。
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		A	A

外部評価コメント	<p>高島の歴史遺産は確実に引き継いでいくべきものであり、保存管理には万全を期していただきたい。「高島市文化財保存活用地域計画」では、令和12年までの10年間の計画が立てられているが、その目的達成に向け尽力いただきたい。</p> <p>事業目的に沿って、これからも十分に取り組んでもらいたい。近年の自然環境はこれまでと異なり、雨が降るといっても災害になってしまったりする状況が見られる。所有者、地域のコミュニティだけでは守りきれなくなっている。継続した取り組みをお願いしたい。</p> <p>文化財の保存継承のために、所有者や管理者への支援を継続・充実させていくことが課題である。「高島市文化財保存活用地域計画」に則り、文化財の状況把握調査、保存継承、発信・活用について計画的に実施いただきたい。</p>
----------	--

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>文化財の維持管理については、文化財所有者・管理者に文化財的価値を理解していただけるよう説明を行う。また支援についても「高島市文化財保存活用地域協議会」との連携を図りながら可能な限り継続して行っていきたい。</p> <p>また、文化財保護推進員を設置し文化財の状況把握を行い、文化財の保護方針などを示し次世代への継承に向けた活動に努める。</p>

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	文化的景観保護推進事業	通番	28
担当部局	教育総務部 文化財課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「せせらぐ」暮らし・文化
施策項目	1. 誰もが住みたくなる生活環境を整えます
施策方針	4 「水」を大切に作る生活環境を保全・継承します
施策内容	① 日本遺産や水辺景観の継承と活用
◆第2期教育大綱	
重点目標	目標4 地域の特性を踏まえた文化財の保存・継承および活用

事業の概要

事業目的	国の重要文化的景観に選定されている3地域において、各まちづくり協議会や有識者から意見を伺い整備や活用方針を決定し、生活文化の継承と景観を維持していく。
------	---

取り組み内容	<p>重要文化的景観を維持していくために、高島市重要文化的景観整備活用委員会を開催し課題・懸案となっている事項を協議し、重要な構成要素の修理・修景に対して補助金を交付した。市所有の大溝陣屋総門の保存整備に向けた実施設計を行った。また、各選定地のまちづくり協議会に文化的景観の価値・魅力を伝え地域を活性化させるための業務を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高島市重要文化的景観整備活用委員会（1回） 令和3年12月15日に開催し、主に大溝陣屋総門の保存整備について協議した。 ◆重要文化的景観整備補助金（2件） 海津の石積み修理（補修として塗られたモルタルを除去し、補強しながら積み直しを行った） 圓光寺山門修理（経年劣化の著しい屋根を中心に解体し、木部の補修や瓦の葺き替えを行った） ◆大溝陣屋総門保存整備実施設計業務委託 総門の保存修理と活用に必要な整備（管理棟、トイレ等）にかかる実施設計を行った。 ◆水辺景観魅力向上業務委託（3件） 海津・西浜・知内の水辺景観魅力向上業務委託（案内窓口の設置、見学ルートの整備など） 針江・霜降の水辺景観魅力向上業務委託（見学ルート周辺の環境整備、地域情報の発信など） 大溝の水辺景観魅力向上業務委託（ガイドツアーの実施、地域情報の発信など）
--------	--

新型コロナウイルス感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会では、地域見学会を中止した。 ◆案内窓口に消毒液を設置しながら、案内業務を行った。
------------------	---

課題	選定から時間が経ち、重要な構成要素の所有者が交代し、文化財であるということが継承されておらず、相談・手続きを経ることなく修理に着手する可能性がある。
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
			A

外部評価コメント	<p>選定から時間が経ち、所有者の交代により継承できていないという課題については、これまで何も手立てを打ってこなかったところに問題があるのではないかと。令和2年度の課題として「まちづくり協議会」の高齢化に伴う担い手不足の懸念が上げられているが、その点への対策はどうなっているのか。確実に維持されるよう、先を見通した事業推進をお願いしたい。</p> <p>事業目的に沿って取り組みを進めていってもらいたい。課題の中に書かれているように文化財だということが継承されずに修理などがされないように、まちづくり協議会とは密に連携しながら、せっかくの文化財を活かしてほしい。</p> <p>コロナ禍の影響により水辺景観魅力向上業務委託における普及事業が中止となったのは残念である。普及事業は市民に文化財の理解を深める機会である。次年度には感染症対策を含め、実施に向けた工夫を検討いただきたい。</p>
----------	--

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

重要な文化的景観の維持に関しては、地元のまちづくり協議会などの活動が今後も必要であることから、それぞれの協議会と連携し、地域に合った活動や支援を行う。

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	重要遺跡等維持管理事業	通番	29
担当部局	教育総務部 文化財課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「せせらぐ」暮らし・文化
施策項目	1. 誰もが住みたくする生活環境を整えます
施策方針	3 文化による人や地域のつながりづくりを推進します
施策内容	③ 地域に伝わる文化財の継承
◆第2期教育大綱	
重点目標	目標4 地域の特性を踏まえた文化財の保存・継承および活用

事業の概要

事業目的	国指定文化財である名勝朽木池の沢庭園と史跡清水山城館跡の適切な保存管理および公開活用を目的とする。
------	---

取り組み内容	<p>◆名勝朽木池の沢庭園整備事業</p> <p>①整備工事 当庭園の安全な公開活用を目的に、整備工事一式（木道41.8m、案内板1基、誘導石1基、丸太階段16段、ロープ柵187.4m、侵入防止柵298.3m）を実施した。</p> <p>②解説板作成設置業務委託 来訪者が、当庭園の特徴や価値を認識できることを目的に、解説板（3基）を設置した</p> <p>③環境保全 地域サークルと連携して樹木伐採や草刈りなどの管理作業を開催した。</p> <p>④普及事業 地域サークルによる環境保全と共に学芸員を講師にした見学会を開催した。</p> <p>◆史跡清水山城館跡保存活用事業</p> <p>史跡内の見学や体験に欠かせない遺構を見やすくし、また容易に散策ができるよう下刈りや倒木の伐採を実施した。</p> <p>①伐採・林内整理 5.22ha ②除草作業等 2,794㎡（地元活動団体への見学ルート整備委託） ③歴史・文化を体験する場として、講師や現地の案内を行った。（湖西中学校の地域学習の講師）</p>
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	特になし
------------------	------

課題	環境維持には、日常管理が不可欠である。現在、その管理の一部は文化財課が行っているが、地域住民を巻き込んだ長期的な維持管理の体制の構築が必要である。
----	---

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		B	A

外部評価コメント	<p>適切な保存管理には、日常管理だけでなく先を見通した取組が必要である。清水山城館跡については、保存するには何をしなければならないのか、いつまでにする必要があるのか等が明確でなければならない。</p> <p>両文化財とも国指定の文化財であることはもとより、その歴史や価値などを市民が知ることが大切だと思う。また、日常的な環境整備が必要な場所でもあり、地域住民や保存活用団体との連携を深めていてほしい。</p> <p>整備工事によって庭園の価値をわかりやすく示すことができるようになった点は評価できる。今後、保存活用を図るうえで、地域住民との協働による維持管理体制の構築について具体的検討を進めてほしい。</p>
----------	--

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

地域のボランティアサークルなどと協働で維持管理を行うとともに、案内看板を設置し史跡の存在を来訪者にもわかるよう発信に努める。また、魅力と重要性を再確認頂ける現地見学会を開催し、幅広い歴史ファンの獲得におけた取り組みも行う。

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	スポーツ推進委員設置事業	通番	30
担当部局	教育総務部 市民スポーツ課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「つむぐ」 健康・福祉
施策項目	1. 健康でいきいき暮らせる地域をつくります
施策方針	1 スポーツによる健康づくりを推進します
施策内容	① スポーツ団体支援による健康スポーツの推進
◆第2期教育大綱	
重点目標	目標5 スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進

事業の概要

事業目的	スポーツ推進のための実技指導や指導助言、連絡調整を行うスポーツ推進委員を委嘱し、スポーツの振興を図る。
------	---

取り組み内容	<p>スポーツ推進委員を委嘱し、スポーツに関する指導や助言を行い、生涯スポーツの普及等を図る。</p> <p>(1) スポーツ推進委員会（委員35名） 10回（うち書面開催2回）</p> <p>(2) スポーツ推進委員による事業 ①里湖で地域を結ぶウォーキング 7回、延べ307人参加 ②出前講座 4回、延べ72人参加 ③ボールダート体験会 1回、8人参加</p> <p>(3) 研修会 ①市スポーツ推進委員研修会 1回、16人参加 ②県スポーツ推進委員研修会 1回、10人参加</p>
--------	---

新型コロナウイルス感染症への対応	<p>緊急事態宣言発令により、市民体力測定会と里湖で地域を結ぶウォーキング（9月）を中止した。</p> <p>「里湖で地域を結ぶウォーキング」では、以下の感染症対策を講じながら、事業を実施した。</p> <p>（事前申込制の導入（参加人数の把握）／手指の消毒、体温測定の徹底／イベント参加者受付表記入のお願い（健康状態の確認）／人と人との距離をあけて事業を行うことなどを徹底）</p>
------------------	--

課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中、新しい生活様式を踏まえた市民の運動習慣づくりの機会を創出する必要がある。また、関係部局との連携により、今後の活動方針等を検討するなど、一体となって取り組みを進める必要がある。</p>
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント	<p>昨年度の外部評価において、推進委員の高齢化と若年層の人材確保が上がっていた。スポーツ推進委員の幅広い人材確保を進めるといって具体的に何か対策を講じているのかが見えてこない。関係部局との連携を図るといっては大いに期待したい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で運動不足になっている市民は少なくない。そのような中でも、気軽に参加できる機会を提案していただけることは嬉しいことである。安全安心に参加できるようにスポーツ推進委員の指導力を向上させ、生涯スポーツの普及に尽力していただきたい。</p> <p>コロナ禍でもスポーツ推進委員の創意工夫によって事業を実施し、事業参加者数が目標値を上回った点は高く評価できる。一方、スポーツ推進委員研修会の参加者数が昨年度に比して減少した点は課題である。要因を分析し、改善策を検討していただきたい。</p>
----------	--

6. 今後の取組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>誰もが気軽に親しめる健康スポーツの推進を図る上で、スポーツ推進委員の果たす役割は大きく、本市のスポーツ推進の中心的な役割を担い、欠かすことの出来ない存在である。委員としての知識、資質の向上を図るため、本市での研修会はもとより、上部組織（県・全国）の研究協議会・研修会への積極的な参加が得られるよう工夫して取り組む。</p>
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	スポーツ関係団体育成事業	通番	31
担当部局	教育総務部 市民スポーツ課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「つむぐ」 健康・福祉
施策項目	1. 健康でいきいき暮らせる地域をつくります
施策方針	1 スポーツによる健康づくりを推進します
施策内容	① スポーツ団体支援による健康スポーツの推進
◆第2期教育大綱	
重点目標	目標5 スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進

事業の概要

事業目的
市民の健康づくりや活力ある地域づくりを推進するため、スポーツ振興団体が取り組む活動や振興事業を支援する。

取り組み内容
<p>スポーツ関係団体の活動を補助金により支援し、生涯スポーツの促進と青少年の健全育成を図る。</p> <p>(1) スポーツ振興団体の活動支援補助</p> <p>①高島市スポーツ協会（競技団体27団体、その他14団体）</p> <p>②高島市スポーツ少年団（34団体、団員数622人、指導者数188人）</p> <p>(2) 地域スポーツの振興事業補助</p> <p>①地域スポーツ振興会（6団体、球技大会、ウォーキング等 参加者数延べ476人）</p>

新型コロナウイルス感染症への対応
<p>高島市スポーツ少年団では、コロナ禍の影響により、交流会および研修会を中止した。緊急事態宣言発令時には、通常の単位団活動および対外試合等の自粛を要請した。</p> <p>6つの地域スポーツ振興会のうち3つの地域スポーツ振興会では、感染症対策を講じながら、一部の事業を実施した。</p>

課題
<p>競技スポーツの推進を図るため、市スポーツ協会加盟団体が行う各種大会への参加、スポーツ施設の利用促進などを通して、各種事業参加への積極的な働きかけが必要である。</p> <p>また、市民全体の生涯スポーツの推進に向けて、地域スポーツ振興会やスポーツ少年団などとの連携強化をはじめ、指導者育成の推進や更なるスポーツ・レクリエーション活動の機会提供が必要である。</p>

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	B

外部評価コメント
<p>目的は市民の健康づくり、スポーツの推進であり、各団体どうしの連携の促進、指導者育成の推進、市民への機会の提供等、より積極的な取組をお願いしたい。</p> <p>少子化が進む中、子どもたちがやれるスポーツが、特に団体競技などが限定されてきている。市内のスポーツ振興団体には子どもたちのやりたいスポーツ活動を支える役割を担っていただきたい。また、市民の生涯スポーツ推進に向けて、団体等の支援を強化して欲しい。</p> <p>コロナ禍にあっても感染症対策を行いながら事業を実施に努めた点は評価できる。また、利用環境の向上を図るため施設改修・修繕に取り組んでいる点も評価したい。</p>

6. 今後の取組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

<p>コロナ禍において地域のスポーツ行事等が事業縮小や中止を余儀なくされる中、スポーツを通じた横のつながりが薄れつつある。市民が気軽に運動やスポーツに取り組める機会、環境を提供するとともに、地域のスポーツ関係団体との連携・支援を通して、運動やスポーツに取り組むきっかけづくりや習慣化を図る。</p> <p>また、年齢や性別、障がいの有無を問わず、すべての市民が身近にスポーツを楽しめる、スポーツを『する』、『みる』、『支える』、『知る』ための環境づくりを、スポーツ関係団体と連携して取り組む。</p>
--

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	スポーツツーリズム振興事業	通番	32
担当部局	教育総務部 市民スポーツ課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「かもす」 産業・経済
施策項目	3.観光で国内・海外に「高島」を伝えます
施策方針	2 高島の魅力を国内・海外に発信します
施策内容	③ 地域資源とスポーツが融合したスポーツツーリズムの推進
◆第2期教育大綱	重点目標 目標5 スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進

事業の概要

事業目的
本市の豊かな自然環境やスポーツ施設等、地域資源を活かしたスポーツイベントの開催を通じ、さまざまな交流を促進し、関係人口の拡大を図る。

取り組み内容
「FAIRY TRAIL びわ湖高島トレイルランニングinくつき」、「びわ湖高島栗マラソン」の開催を支援する。

新型コロナウイルス感染症への対応
各実行委員会において、競技コースや送迎バス等における密接・密集状態を避ける対策、大会を支えるボランティアスタッフの安全管理体制の確保などから開催が難しいと判断し、大会の中止を決定した。

課題
市内経済の好循環化を一層図るため、スポーツイベントで市内宿泊を喚起するための工夫、またスポーツイベントを支える仕組みづくりが必要である。

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	C

外部評価コメント
スポーツイベントと地域資源の融合、関係団体や開催地域の方との連携、スタッフの確保と体制の構築等がポイントになる。アフターコロナを見据え、今から先を見通した手立てを着実に講じてゆきたい。
高島市の自然と環境を利用し、観光資源としての価値も大きいイベントであるので2年中止になったことは大変残念であった。事業目的にあるように、このイベントで関係人口を増やすためには大会そのもの以外にも関連した小さな催しなどを企画し、交流を続けることが大切なのではないか。
コロナ禍ゆえ実施中止はやむを得なかったものと思われる。次年度の開催に向けて感染症対策や安全管理体制の確保など、準備体制を整えた点は評価できる。

6. 今後の取組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

コロナ禍において大会の中止を余儀なくされたが、民間事業者のノウハウを地域の関係団体と創意工夫を凝らしながら、アフターコロナを見据えたスポーツイベント開催を通して、参加者と市民との交流を深め、関係人口の創出と地域活性化に向けて取り組む。

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	高島市民体育大会開催事業	通番	33
担当部局	教育総務部 市民スポーツ課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「つむぐ」 健康・福祉
施策項目	1. 健康でいきいき暮らせる地域をつくります
施策方針	1 スポーツによる健康づくりを推進します
施策内容	③ 国スポ・障スポを契機とする競技スポーツの振興
◆第2期教育大綱	重点目標 目標5 スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進

事業の概要

事業目的
大会を通じて競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。

取り組み内容
高島市スポーツ協会に市民体育大会の開催を委託し、各種目の参加受付及び取りまとめや、円滑な大会運営のための主管団体との連絡調整を行う。
(1) 開催競技 15競技 ハンドボール、軟式野球、グラウンドゴルフ、バレーボール、ゲートボール、硬式テニス、卓球、銃剣道、空手道、ソフトテニス、ボウリング、ゴルフ、クレー射撃、バスケットボール、スキー
(2) 参加人数 1,438人（選手1,231人、役員207人）

新型コロナウイルス感染症への対応
当初21競技を予定していたが、6競技（柔道、バドミントン、サッカー、ウエイトリフティング、少林寺拳法、ビーチボール）で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。新型コロナウイルス感染症の影響が強いことから、各大会を実施する場合は、市の方針やガイドライン等に沿った感染防止対策を講じた上で実施する必要がある。

課題
令和7年（2025年）に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けてスポーツ振興を図るうえで、競技スポーツの普及発展等に重点を置いた大会として、市民が幅広く参加できるよう取り組みを進めていく必要がある。

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
		—	A

外部評価コメント
競技スポーツの普及と共に、市民一人一人がもっと気軽にスポーツに親しみ、楽しく健康増進を図ることのできる機会を数多く提供し、裾野を広げていくことが大切である。それが国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けての関心の高まり、大会成功につながる雰囲気づくりにつながるのではないかと考える。
高齢化にコロナ禍が追い討ちをかけたように大会参加者は減り続けている。大会参加まで行かなくともその競技を楽しむ人たちを、まず増やしてゆく取り組みをしてほしい。
感染症対策を講じながら市民体育大会を開催し、昨年度を上回る参加者数を達成できたことを評価する。昨年度に引き続き中止となった競技の実施を今後どうしていくのか、関係者と検討してほしい。

6. 今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

コロナ禍において地域のスポーツ大会等が事業縮小や中止を余儀なくされる中、スポーツを通じた横のつながりが薄れつつある。アフターコロナを見据えて、市民体育大会の開催機会を捉え、市民がスポーツに関心をもっていただくきっかけづくりとなるよう、スポーツ協会の体制強化を図りつつ、各競技団体の競技力向上と競技参加者を増やせるよう取り組む。

令和3年度分事務事業点検評価シート

事務事業名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業	通番	34
担当部局	教育総務部 国スポ・障スポ大会推進課		

事業の位置付け

◆第2次高島市総合計画（後期）	
政策分野	「つむぐ」 健康・福祉
施策項目	1. 健康でいきいき暮らせる地域をつくります
施策方針	1 スポーツによる健康づくりを推進します
施策内容	③ 国スポ・障スポを契機とする競技スポーツの振興
◆第2期教育大綱	重点目標 目標5 スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進

事業の概要

事業目的	令和7年に滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催を契機に、競技力の向上はもとより、市民のスポーツへの関心を高め、広くスポーツを普及・振興し、市民の健康増進や体力向上を図る。
------	---

取り組み内容	<p>市民・関係団体・行政からなる市準備委員会を設立し、競技会の円滑な運営に関し、必要な準備を行った。</p> <p>【準備委員会】会長1人、副会長4人、常任委員43人、監事2人、参与25人、委員46人 計124人</p> <p>◆会議 設立総会・第1回総会：令和3年11月11日開催 第1回常任委員会：令和4年2月15日書面開催</p> <p>◆広報啓発活動 イベント等にて啓発活動：4回 広報誌等による広報活動：2回</p> <p>◆先進地調査 大会視察：全日本総合女子ソフトボール選手権大会 全日本・全日本女子ウエイトリフティング選手権大会 先催市町視察：栃木県小山市（ウエイトリフティング開催市） 栃木県壬生町（銃剣道開催町） 三重県熊野市（ソフトボール開催市）</p>
--------	--

新型コロナウイルス感染症への対応	第1回常任委員会を書面により開催した。
------------------	---------------------

課題	大会を成功に導くためには、市民総参加による取り組みが必要であり、市民の関心や参加意欲を高めるため、効果的な広報啓発活動を積極的に展開する必要がある。
----	--

総合評価 (5段階)	外部評価	令和2年度	令和3年度
			A

外部評価コメント	<p>両大会の開催について、今の段階ではまだまだ市民に知られていないのではないかと。知っていたとしても関心をもつ市民となるとさらに少ないように思う。市民総参加による取組にするためには、広報活動だけでなく、市民と双方向になる取組等、少しずつでも関心を高め、主体的に関わろうとする意欲を醸成する方策を講じる必要があると考える。</p> <p>課題に掲げておられるように、市民総参加による取り組みにしてゆくためには、より効果的な広報啓発活動が必要ではないかと感じる。また、市民が身近に参加できるスポーツの機会を増やしなから、国スポ・障スポに対する気分を盛り上げてゆかれることを期待する。</p> <p>国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備委員会が発足し、開催に向けた啓発活動や広報活動が取り組まれたことを評価する。市民の関心や参加意欲を高める広報啓発活動を工夫しながら実施していただきたい。</p>
----------	---

今後の取り組み（第2期教育大綱の目標に向けて）

今後の取り組み	大会を成功に導くためには、市民総参加による取り組みが必要であり、市民の関心や参加意欲を高めるよう、様々な方法による広報活動に積極的に取り組む。
---------	---

4. 参考

資料①：第2期高島市教育大綱

資料①：第2期高島市教育大綱

[実施期間：令和3年度～令和7年度]

基本方針

市民一人ひとりが高い志をもち、生涯にわたって学び、学んだことを人々のため、社会のために役立てようと行動するひとを育てる『高島の志の教育』を推進します。

基本目標

目標1 生きる力を育む学校教育の推進

すべての子どもが夢と希望をもち、健やかに育つよう、地域と一体となって、生きる力を育む学校教育を進めます。

目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

社会の変化や地域課題に応じた学びを通して、ひとづくりに努めるとともに、その学習成果を生かし、持続可能な新しい地域づくりにつなげます。

目標3 地域ぐるみで育む青少年教育の推進

自然体験や社会体験を通して、豊かな心と社会性を身に付けた行動力あふれる青少年を地域全体で育成します。

目標4 地域の特性を踏まえた文化財の保存・継承および活用

地域の多彩な文化財を保存し、継承するとともに、その魅力の発信・活用を進めます。

目標5 スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進

だれもが・いつでも・気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を創造します。

基本目標達成のための施策方針

目標1 生きる力を育む学校教育の推進

- ① 小中一貫教育を中核に据え、確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身の育成に向けて、幼児教育や高校教育との学びの連続性を重視し、系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行います。
- ② 1人1台端末等の効果的な活用により、学び方を改革し、主体的・対話的で深い学びの実現と個別最適な学びを推進します。
- ③ 少人数指導等により、一人ひとりの理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- ④ 学校での学びを、働くこと、生きることに関連付け、自分らしい生き方を実現していく力が身に付くよう、系統的・継続的なキャリア教育を推進します。
- ⑤ グローバルな視点をもって活躍する人材を育てるため、外国語で自分の思いを豊かに発信できるコミュニケーション力を育成します。
- ⑥ 高島の豊かな自然や文化遺産を生かした特色ある教育活動を推進し、地域に愛着をもち、地域に貢献しようとするひとを育てます。
- ⑦ 「高島市いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域が連携を深め、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取り組みを推進します。
- ⑧ 子どもの安全・安心を守るため、子ども自ら命を守る力を身に付ける教育を推進するとともに、学校安全体制の整備を推進します。
- ⑨ 市内小中学校の学校運営協議会において、学校教育目標を共有し、熟議を重ね、地域と一体となって子どもの豊かな成長を育む体制の強化を図ります。
- ⑩ 地域の特色を生かした学校給食を実施し、子どもの心身の健全な発達と食に関する正しい理解、望ましい食習慣を養います。
- ⑪ 心身の健全な発達を促すため、体力の向上を図り、健康の保持増進の基礎となる力を培います。
- ⑫ 子どもたちにとってより望ましい環境を整備するとともに、安全で快適な学習環境の実現を図ります。

目標2 新しい地域づくりに向けた社会教育の推進

- ① 生涯学習を通して、地域の人材育成を推進し、その学びが地域づくりに生かせるよう、関係機関と連携して取り組みます。
- ② 学校教育と社会教育の協働と、さらなる社会教育関係団体等との連携により、子どもの学びと育ちを支え、学校を核とした地域づくりを進めます。
- ③ 家庭が子どもの生きる力の基礎を育む場となるよう、講座や研修会を市の関係部局と連携・協働して開催し、教育力の向上に取り組みます。
- ④ 公民館、図書館等の社会教育施設を拠点に、市の関係部局や社会教育関係団体と連携しながら、市民の学ぶ機会の提供と地域課題の解決に向けた取り組みを促進します。
- ⑤ 「差別のない 住みよいまち 高島市」をめざし、市民の人権感覚を高めるため、学校・家庭・地域の連携により人権教育を推進します。

目標3 地域ぐるみで育む青少年教育の推進

- ① 自然や文化遺産等の地域資源を活用して、子どもの豊かな学びと成長を支援します。
- ② 地域で主体的に活動している青少年団体の活性化に向けて取り組みます。
- ③ 青少年の健全育成や被害防止のため、青少年関係団体と連携・協働して地域の子どもの守り育てる体制の充実を図ります。

目標4 地域の特性を踏まえた文化財の保存・継承および活用

- ① 市民の財産である文化財の状況把握と調査を進め、歴史的な価値を明らかにするとともに、適切な保存管理を図ります。
- ② 文化財の適正な保護措置を図りながら、関係部局、団体、市民等との連携を通して次世代へ着実に継承できる仕組みづくりを促進します。
- ③ 市内の文化財の存在や価値等を広く情報発信するとともに、多くの市民等に地域の誇りである文化財を学び、活用してもらえる取り組みを進めます。

目標5 スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の推進

- ① 運動機会の提供やスポーツに親しむきっかけづくりとなる情報発信を通じて、誰もが気軽に親しめる健康スポーツの推進を図ります。
- ② 滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会にあたり、一般社団法人高島市スポーツ協会の体制強化を支援するとともに、各スポーツ団体と連携して開催に向けた環境づくりを進めます。
- ③ スポーツボランティア登録制度を充実し、情報発信や活躍の場の提供に努め、スポーツ参画人口の拡大を図ります。
- ④ スポーツイベントの開催や、民間のスポーツツーリズム等を誘致し、参加者と市民との交流を深め、地域活性化を図ります。
- ⑤ 市民が安心してスポーツに親しめるよう、施設の効果的・効率的な維持管理を図り、安全にスポーツができる環境づくりを進めます。

